

# 逗子の景観まちづくり

## 瓦版 第二十九号

平成二十六年七月十五日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の景観に

関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

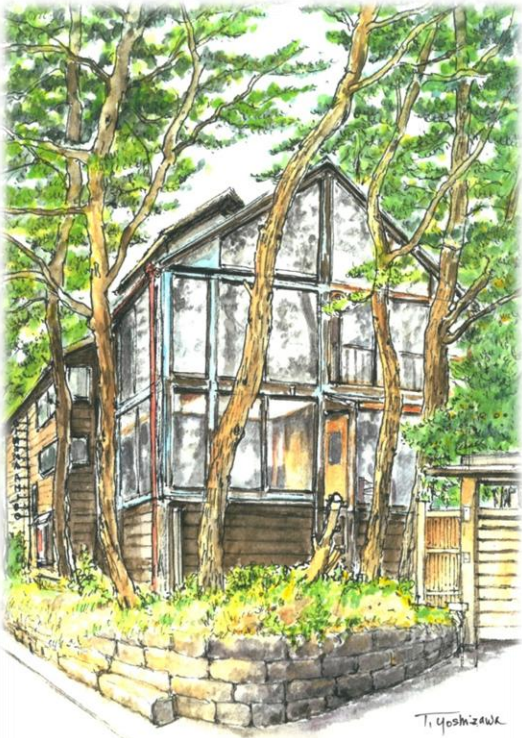
ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

### 「逗子の海」

文 長島 安子

逗子の海辺近くで育った私にとって見慣れた景色。それは、毎日通学の行き帰りに通った海岸中央通り、そしてその先に広がった逗子の海です。子供の頃は、生垣や竹垣もしくは石積み塀の塀、松の木が連なる通りという印象でした。そして、点在する日本家屋が別荘地であった風情を残していました。



「昔の面影を残す黒門通りに建つシネマアミューズ」

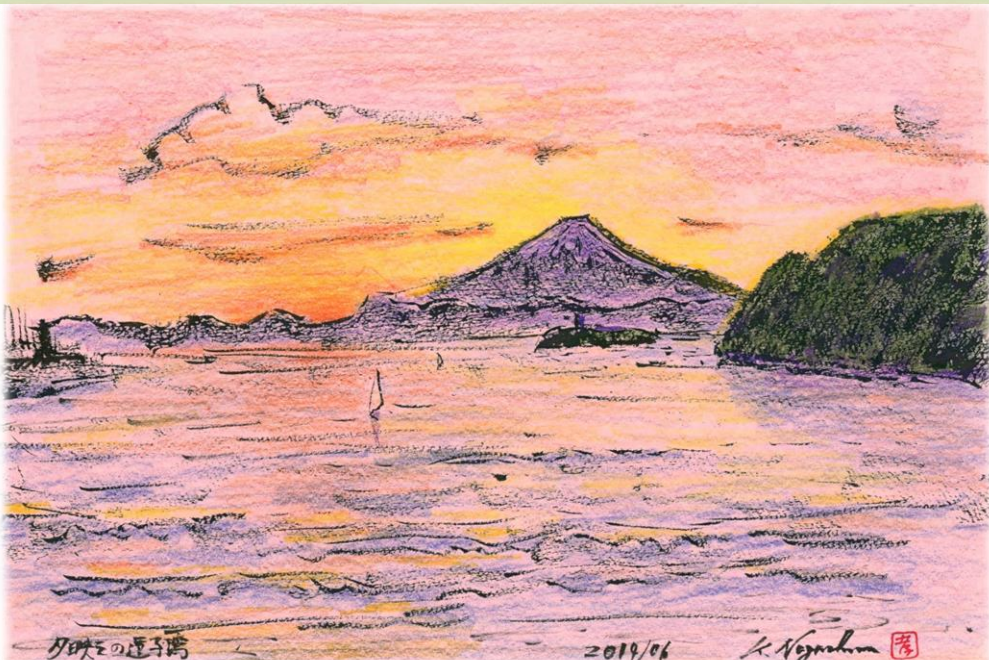
絵 吉澤 富雄

夏の時期の通りには、焼きとうもろこし、海

ほおずき、様々な海水用品を売る露店が出て賑わっていました。実家も明治時代に別荘として建てられた天井の高い建物で、暑い日に玄関に足を一步踏み入れた瞬間、汗が引くくらいの冷んやりとした空気が気持ち良かったのを覚えていいます。その実家から、134号線下のトンネルをくぐり浜辺に出ると、正面には海が広がり、遠くに江ノ島、富士山、晴れた日には伊豆半島までくっきり見える、逗子に住む人にとってはお馴染みの景色が広がっています。背後が三方山に囲まれ、弧を描いた湾はこじんまりとしていて砂浜に居るとなぜか落ち着き、包み込んでくれる心地良さを感じます。

時折、出掛け先から逗子駅に降り立つと届いて来る潮の香りに、その海辺の空間、故郷に戻って来たという懐かしさを覚えるのも、そんな原風景から来る思いなのでしょう。

近年の街並みの変化には戸惑い、残念に思う事が多い今日この頃ですが、いつまでも変わらずにある逗子の海には癒され、魅力ある景色として存在し続けて行く事でしょう。



「夕映えの逗子湾」

絵 長島 孝一

夕映えの逗子湾

2019/06

K. Nagashima



# みんなで景観を考えよう!!



市民の方たちで行っている景観に関するワークショップのご報告を頂きました。逗子のまちなみを良くしようと、こうして活動されている方がいらっしゃるの嬉しいことです。

## 海沿いのカフェの語らい

「では、まずは自己紹介から・・・」平日の夜に海沿いのカフェに集まったのは8人。

とくにお題があるわけでもなく、レジメもなく、持ち寄ったのは逗子の街をもっと良くしていきたいという想いだけ。最初はぎこちなかった空気も自己紹介が一通り終わったあたりから、それぞれが逗子の街のここをこうしたらいいのに、とビール片手に語りだし、小さなカフェは熱気で包まれた。

『家の裏に放置された山がある。整備をしてけもの道を作れば、避難路として活用できるのではないか。でも行政に言ってもそこは民有地だからとダメだった。』という意見が出されれば、

『40年前は、桜山の山道を通り抜けて長柄まで歩いて通り抜けていた。地域住民がボランティアで山道を整備してはどうか。実際に、二子山山系自然保護協議会という団体は、広大な森を市民等が保全する活動をしている。』という意見が返される。

『市内に60ヶ所ある逗子景観賞は、市民からのラブレター。これがあるから壊されなかったという沿道のしつらえもある。』という意見については、

『景観賞の商店版をつくってはどうか。チェーン店でも逗子の景観ガイドラインに従い落ち着いた街並みに合うデザインにしている店もある。一方で守らない店もあり、差別化が必要ではないか。』といった意見が出された。

他にも、134号の地下化、電線類の地下化、街のシンボルカラー、土地の分割制限、空き家対策、黒松の回復、海岸の養浜対策、etc

短い時間であったが、たくさんの逗子の街の課題が出された。こうした課題を解決していくにはどうしたらいいだろうか。道路整備などのハード面は行政にまかせるとして、私たち市民ができること。街の歴史と文化を掘り起こし、付加価値をつけていく。ソフト面でできることは色々あるのではないだろうか。

こうしたワイワイガヤガヤとした前向きな雑談から、逗子の新しい価値が生まれてくると、海風に吹かれながら予感した夜であった。



記 逗子文化の会会員 長島 有里  
参加者▷8人(内 会員6人)



景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」は市役所2階のまちづくり課で配布中です。みんなで景観を考え、実際に景観づくりを实践するのに役に立つ本です。

まだお持ちでない方は、是非お手にとってみてください☆

瓦版の編集担当は 逗子市環境都市部まちづくり課♪

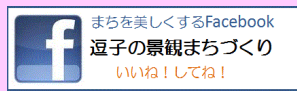
電話：046-873-1111 FAX：046-873-4520

Mail：[machi@city.zushi.kanagawa.jp](mailto:machi@city.zushi.kanagawa.jp)

逗子の景観まちづくり

検索

クリック!



瓦版に掲載する  
逗子の景観コラム、  
イラスト募集中!!



☆瓦版のバックナンバーは逗子市ホームページまたはフェイスブックからも閲覧できます。また、逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。他のナンバーも是非ご覧ください。